

2016年度(平成28年度)こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第1-3回]

第1回 アメフラシ、見たことある？さわったことある？今年もアジュール舞子は生きものがいっぱい！ —神戸の海のみりよくにふれてみよう—

- 日時 2016年5月21日(土)10時～12時30分
- 場所 アジュール舞子
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 神戸市立須磨海浜水族園
- 協力 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア
神戸親和女子大学ユネスコクラブ



- ◆ 講座当日のアジュール舞子は、青く晴れわたった空、にキラキラ光る海の向こうに緑豊かな淡路島が見える絶好の生き物観察会日和と言える。参加した子どもたちは気持ちが高揚しているのか、どこか落ちつかない様子で、注意事項説明後、生きものの採取の案内をすると子供たちは元気よく海辺に走り出した。子どもたちは次々に海で採取した生き物をタッチプールに持ち寄り、大きなアメフラシや小さな蟹にタコなど、たくさんの生きものが集まりました。その後、講師より生きものの不思議な生態など織り交ぜ分かりやすく説明していただきました。参加者は食い入るように講師の話を聞いていました。



第2回 食べるってたいせつ、地球もたいせつ —省エネクッキングで、わたしも地球をすこやか—

- 日時 2016年6月11日(土) 10時～12時、13時30分～15時30分
- 場所 コミスタこうべ(市生涯学習支援センター)
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 黒谷静佳さん(ECO遊悠)
- 協力 ECO遊悠
神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆ 食べることは大切、地球も大切である。調理実習する際のエネルギーを無理せず少しでも省く方法を学び、家庭に戻っても地球温暖化の原因と言われている二酸化炭素の排出量を少しでも削減することで、地球の環境保全ができることを学んでいただきました。



第3回 クワガタがおったあ！ここにはいろんな虫がいるね！ —息をこらして集中して、いろんな生きものをさがしてみよう—

- 日時 日時 2016年7月16日(土)10時～12時30分
- 場所 西神中央公園
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 山本勝也さん(日本甲虫学会)イマサキ惟さん(神戸女学院大学)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆ 会場の西神中央公園は、住宅街に囲まれたところに位置するが、里山を残した公園であるため、いろいろな動植物が息づいている。講師から、危険な生きものの説明を受けたあと、子どもたちは公園内を走り回り、カブトムシやクワガタムシ、蝶やバッタなど、いろんな生きものを採集しました。まとめて講師から解説していただき、生きものと人間の関わりや環境保全の大切さを学んでいただきました。



2016年度(平成28年度)こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第4-6回]

第4回 夏休みの自由研究レスキュー隊 参上！ —環境未来館に、燃料電池車(MIRAI)が来るよ—

- 日時 2016年8月1日(月)・2日(火)・4日(木) 各日10時～16時
- 場所 こうべ環境未来館
- 企画運営 アースパルKOBE
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

◆ 開催プログラム

- ・風のかでLEDを光らせよう(講師:アースパルKOBE)
- ・生ごみのまま捨てないで(講師:ECO遊悠)
- ・ロールペーパー万華鏡(講師:神戸親和女子大学ユネスコクラブ)
- ・自然からのおくりもので工作(講師:木縫の里)
- ・太陽の光がかなでる(講師:アースパルKOBE)
- ・コットンボールで糸つむぎ(コットンボール銀行)

夏休みの自由研究のお助けとなる環境学習講座や、事前申込不要の自転車発電体験・おもちゃの病院・燃料電池コーナー・燃料電池車MIRAI展示などで、エネルギー関係などの学習をしていただいた。



第5回 神戸市内にこんな場所が！住吉川にアユがいた！ —海水と淡水の混じる汽水域に暮らすさまざまな生きもの—

- 日時 2016年8月27日(土)
- 場所 住吉川汽水域
- 講師 兵庫・水辺ネットワーク(大嶋さん・安井さん)
- 企画運営 アースパルKOBE
- 協力 住吉川清流の会・住吉川公園東管理会・神戸親和女子大学ユネスコクラブ



- ◆ 住吉川は、住吉川清流の会の会員や地域の方々や河川の美化清掃・保全活動などに取り組んでおり、都会の中を流れる川でありながら、アユやウナギが生息する綺麗な川に蘇っています。この川の汽水域に生きる生きものをエコちゃれゼミ参加のみなさんと観察会を行いました。また、講師の安井さん・大嶋さんから分かりやすく説明をいただきました。質疑応答では、参加者からの質問が途絶えることなく、講座時間を過ぎても参加者は講師に質問されるなど子どもたちの生きものへの興味から自然環境保護の大切さを学んでいただきました。

第6回 エコと防災ってつながってんの？—ミニひなん所体験—

- 日時 2016年9月10日(土)
- 場所 ふたば学舎
- 講師 アースパルKOBE、NPO法人プラス・アーツ
- 企画運営 アースパルKOBE
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆ 地球温暖化が原因であると言われていた異常気象のメカニズムや、いま自分たちができる地球温暖化対策を紙芝居やクイズなどで記憶に残る学習を行った。また、私たちの身の回りにある段ボールやチラシを使って、スツールや机、ベッド、食器などを作ったり、救援物資に多いと言われていた栄養価の高いサバの缶詰を使ったカレーライスを電気を使わず省エネを意識して鍋で保温調理するなど、災害時に役立つ知恵を学んでいただきました。



2016年度(平成28年度)こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第7-9回]

第7回 あいなで里山の秋の空気をいっぱい吸い込もう —里山の深まりつつある秋をからだで感じよう—

- 日時 9月22日(祝木)10時から12時30分
- 場所 国営明石海峡公園神戸地区
- 講師 兵庫・水辺ネットワーク
- 企画運営 アースパルKOBE
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ
- 共催 国営明石海峡公園神戸地区



- ◆平成28年5月28日にオープンしたばかりの“あいな里山公園”は、きれいに整備され、また清掃の行き届いた自然豊かな公園で、参加者は清々しい気持ちのなれたのではないのでしょうか。さて、当講座ですが、まず環境学習施設「里山交流館」で、当公園で見られる生きものの生態などを学習した後、2班に分かれてフィールドワークに出掛けました。フィールドワークでは動植物の観察・もんどり体験・ザリガニ釣り体験などをしていただきました。最後に地元で採れたお米を使って参加者みんなで「せんべい」作りに挑戦していただきました。この自然豊かな公園の中で学んだことを日々の生活の中で思い返し、環境に配慮した行動につながっていただきたいと思います。

第8回 未来館でダンスdeエコ！ —里山の秋まつりと農村歌舞伎も見学できるよ～

- 日時:10月15日(土) 午前:10時から12時、午後:14時から16時
- 場所:こうべ環境未来館
- 講師:アースパルKOBE
- 企画運営 アースパルKOBE



- ◆講座当日は、空気の澄んだ絶好の行楽日和となった。講座は午前の部と午後の部に分かれ開催し、午前の部の参加者は講座終了後に里山の秋まつり見学へ、午後の部の参加者は講座の前に里山の秋まつり見学をしていただいた。

講座は、人間の経済活動によって引き起こされた地球温暖化による異常気象などを私たちが少しでも食い止める行動をしなければならぬと気づいていただく座学と、ダンスによる実習では消費するエネルギーと身近にある家電製品などで消費するエネルギーを比べて、エネルギーを作る大変さについて身を以て感じて頂き、今後の生活の中で省エネ行動を促すものとした。

里山の秋まつりについては、地元で採れた新鮮な野菜・果物の直売所や、地元で採れた農産物で作られた「お好み焼き」や「よもぎもち」に「おでん」などの屋台で、参加者には地元の味を堪能していただいた。また全国的に珍しい江戸時代の農民の娯楽だった『農村歌舞伎』見学では、江戸時代の里山に思いを馳せていただけたことでしょう。



第9回 二酸化炭素(CO2)って最近よく聞くけど、どんなもん？ —おもしろ実験をして正体をさぐってみよう—

- 日時 2016年11月19日(土曜) 午前:10時から12時30分、
午後:13時30分から16時
- 場所 エコエコひろば(ふたば学舎)
- 講師 人と化学をむすぶ会
- 企画運営 アースパルKOBE



- ◆二酸化炭素にはいろいろな性質があり、その一つには温室効果がある。地球上で私たち人間が生きていくための環境を守るためには、大気中の二酸化炭素濃度を一定に保つことが重要であることなどを講話いただきました。

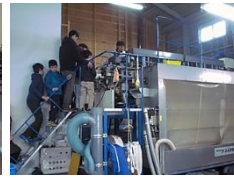
講話のあと、3つのグループにわかれて、順番におもしろ実験を行っていただいた。二酸化炭素は他の気体(酸素や窒素など)よりも重たいことをシャボン玉やろうそくを使って証明する実験や、二酸化炭素が水に溶けやすい性質を実証する実験などをした。また、生活するうえで必要不可欠な化学物質に親しんでもらうため、お風呂に入れると化学変化をおこす入浴剤を作った。それぞれの実験などでは参加者は化学のおもしろさに魅了され、化学物質を身近に感じていただけたことと思います



2016年度(平成28年度)こうべエコちやれゼミ開催の様子[第10回]

第10回 須磨のりで佃煮づくりに挑戦！—上手に作って美味しく食べよう—

- 日時 2017年1月21日(土)午前:10時から12時、
午後:13時30分から15時30分
- 場所 須磨浦漁友会事務所
- 講師 幸内 政年さん(幸内水産)
- 企画運営 アースパルKOBÉ



- ◆今回の講座は、元漁師さんの経歴をもつ幸内講師より、漁師さんのお仕事を映像と解説で分かりやすくお話いただき、次に地球温暖化の影響と考えられる海水温上昇による海洋環境の変化で、大阪湾で獲れる魚種や時期、漁獲量に大きな変化があり、漁業に深刻な影響がでてきているとの話から、参加者のみなさんは興味をもって次々に質問されました。
生のりの佃煮作り体験では、今回が初めての一般向け体験講座とのことでしたが、非常に分かりやすい説明だったことから、参加者のみなさんは親子で話し合いながら、また隣同士協力しながら楽しく体験していただけたようです。
工場見学では、みなさん大きな機械に驚き、製造ラインに興味をもたれ、出てきた香ばしい香りの成果物に喜んでいただけたようで、帰り際には多数の方が須磨のりを購入されておりました。
最後に、アースパルKOBÉさん提供のお米(兵庫県産)を保温調理で炊き上げたご飯に、参加者のみなさんが作った佃煮(須磨産)を包み、かるく炙った須磨のり(須磨産)でおにぎりを作って、試食していただきました。みなさん「おいしい おいしい」と、笑顔でおにぎりをほおぼっておりました。
今回の講座は、地球温暖化・海洋環境の変化・地産地消・省エネクッキングなどと盛り沢山の講座で、美味しく楽しく学んでいただけたと思います。